

平成18年度

研究紀要

児童・生徒理解，人間関係づくりの研修についての一考察
－長期研修修了者への聞き取り調査から探る－

相談セクション 共同研究

平成19年 3月

島根県立浜田教育センター

目 次

- I 研究の目的
- II 研究の基盤
- III 研究の計画
- IV 実践事例
 - 1. A教諭の取り組み
 - ホントの自分 ●マイナス感情を溜めない ●気持ちの言語化 ●円座談会
 - 2. B教諭の取り組み
 - 「自己理解」が大切 ●信頼できる「人」との出会いによる『自己受容』
 - 3. C教諭の取り組み
 - 自分自身の限界を知る ●一人ひとりが自由であるためのルールづくり
 - 生徒との関係は悪くならない
 - 4. D教諭の取り組み
 - 自分の『抱え込み』を振り返り、受け止める ●客観的に自分を見る
 - 自分を開いて～チームでの取り組み ●『対決姿勢』から『協力姿勢』へ
 - 5. E教諭の取り組み
 - 自分の物差し ●子どもとの距離感 ●自分との我慢合戦
 - 6. F教諭の取り組み
 - 『積極的』になった個への関わり ●『個』に視点を当てる
 - 自分の感情がコントロールできるようになった
 - 7. G教諭の取り組み
 - 目の前の人に関わる ●自立と依存、その線引きの難しさ
 - 8. H教諭の取り組み
 - 明るい関係 ●自分らしくいることの第一歩 ●再不登校になったA児
- V 研究のまとめ
 - 1. 考 察
 - 2. まとめ

児童・生徒理解、人間関係づくりの研修についての一考察 ～長期研修修了者への聞き取り調査から探る～

島根県立浜田教育センター
相談セクション 共同研究

I 研究の目的

「教育相談及び生徒指導に関する研究」の項目を研修した長期研修修了者を対象に学級経営に於けるそれぞれの実践を聞き、児童・生徒理解や人間関係づくりの研修のあり方について考え、今後のセンターでの研修の充実に資する。

II 研究の基盤

島根県立教育センター長期研修規定（訓島教教第717号）に基づき、浜田教育センターでは「教育相談及び生徒指導（いじめ、不登校対応等）に関する研究」を研修内容とする長期研修制度を実施している。平成3年度から始まったこの長期研修制度も平成18年度で16年目を迎え、これまでに30名の長期研修修了者を数えるに至っている。

前掲の長期研修規定を受け、浜田教育センター長期研修実施要項においてその趣旨を次のように定めている。

「島根県公立学校教員に、本県の教育課程を解決するためのテーマについて研修させることにより、学校教育の振興と教員の専門的資質の向上に資する」

この趣旨に則り、当センターでは主として以下のような研修内容のもとに長期研修に取り組んできた。

長期研修における主な研修内容

- A. 講義（松江・浜田教育センター主催の講座や各種研修会）
- B. 文献による研修（浜田教育センター図書室の利用等）
- C. 体験的研修
 - 主な研修会
 - ・松江・浜田教育センター主催の講座や研修会
 - ・全国教育所連盟主催の学校教育相談実技研修会
 - ・島根学校教育相談学会主催の研修会
 - ・その他、研修員が希望する研修会
 - 主な研修内容
 - ・傾聴訓練（ロールプレイング等による）
 - ・感受性訓練（グループエンカウンター等による）
- D. 臨床相談体験（センター来所相談の担当者として実際の相談業務に当たる）
 - 保護者担当としての面接相談

○子ども（基本的に小学生・中学生・高校生）担当としての遊
戯療法

E. 定例ミーティングを含むセッション内研修

○事例検討会（相談事例をもとにした検討会等）

○話し合い（日常的に起こる人との関わりについて，その都度
話し合い，研修の場とする）

過去10年間の研修報告書の主題と目次の柱をまとめたものが別表1である。この一
覧表からも分かるように，長期研修員は1年間の研修で，主に人との関わり方について
自分自身が体験したことや文献から学んだことの成果や課題を報告書にまとめている。

その報告書を見ていくとほとんどの研修員が重複して書いている項目，内容がいくつ
かある。その一つが自分を見つめる作業をし，自己理解を深めていこうとしたことであ
る。自分自身について多面的に知り，理解していくこと。そしてありのままの自分を受
け入れる作業をすることに多くの研修時間を割いていることが読み取れる。同じように
重複して書かれている項目や内容を集めたものが別表2の「人間関係づくりに関するキ
ーワード」である。

そこで，長期研修修了者を対象に，「人間関係づくりに関するキーワード」に関わって，
それぞれの学校現場で取り組んでいる実践やキーワードにまつわる体験を聞き取ること
で，長期研修中の成果や課題が学校現場でどう機能しているかをまとめることができる
のではないかと考えた。

別表1) 長期研修員 研修報告書一覧

(平成8年度～平成17年度・順不同)

主 題	目 次 の 柱
心により添う生徒指導をめざして ～自立をうながす援助のあり方～	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリングとの出会い ・心に寄り添うということ ・これからの私のかかわり
心の通じ合う教育相談をめざして	<ul style="list-style-type: none"> ・心の通い合うかかわりを求めて ・心の通じ合う相談をめざして ・私のめざす教育相談
人と人がお互いに信じ合えるような 人間関係づくりをめざして	<ul style="list-style-type: none"> ・自分探し ・面接相談の実際から ・お互いが信じあえる関係について ・「荒れている学級」について
温かい人間関係づくりをめざして	<ul style="list-style-type: none"> ・私を見つめて ・面接相談の実際から ・温かい人間関係づくりを試みて ・温かい人間関係づくりをめざして
人を大切にするかかわりを求めて	<ul style="list-style-type: none"> ・人を大切にするかかわりの前に

	<ul style="list-style-type: none"> ・相手を大切にするかかわり ・グループや集団を大切にするかかわり ・人を大切にするかかわりに向けて
想いを伝えあう集団づくりのために	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリングって何だろう ・ありのままの私を知る ・面接相談で気づいたこと ・想いに耳を傾けたい ・想いを伝えあう集団づくりのために
人の気持ちを大切にするかかわりを求めて	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリングとの出会い ・自分との出会い ・面接相談で気づいたこと ・「自分との出会い」そして「これからの私へ」
“私”をさがして ～自分らしく人とかかわっていくために～	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に入るまでの私について ・研修員生活の中で知った私の姿 ・私らしく、人とかかわっていくために
子どもが“自分らしく”かかわりあえる 人間関係を求めて	<ul style="list-style-type: none"> ・自分を知る ・面接相談で気づいたこと ・“自分らしく”かかわりあうとは？ ・子どもが“自分らしく”関わり合える人間関係づくりに向けて
「あるがままの自分」を認め合える 人間関係づくりをめざして	<ul style="list-style-type: none"> ・担任としてのかかわりを振り返って ・体験や文献から学んだこと ・「自分らしく生きよう」とする事についてのアプローチ
「私の世界」が輝く「生き方・在り方」 を求めて ～相談室での体験から～	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで（学校現場での私） ・相談室で学んだこと（feeling 編） ・相談室で学んだこと（thinking 編） ・これから（学校現場で試みたいこと）
人と人との関わりを見つめて ～自分と向き合いながら見えてきたもの～	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの自分 ・自分と向き合いながら ・人と人との関わりで大切にしたいこと
教育相談における父性的な関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・体験的な研修の報告 ・文献研修の報告 ・実際の相談における母性と父性 ・教育相談と生徒指導

いつも数人で来談する生徒と共に歩んで	・文献から学んだこと
--------------------	------------

	<ul style="list-style-type: none"> ・体験的な研修から学んだこと ・臨床相談の実際と経過
不適応状態の児童生徒及びその保護者に対する援助のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ・体験的研修から学んだこと ・文献研修及び講義から学んだこと ・臨床相談から学んだこと ・他の相談機関から学んだこと
不登校の子どもや保護者に対する支援のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の実際 ・学級経営の充実に向けて
学校生活における温かい人間関係を育むための支援 ～構成的グループ・エンカウンターの実践から～	<ul style="list-style-type: none"> ・体験的研修会に参加して ・臨床相談を担当して ・構成的グループ・エンカウンターへの取り組み
子どもの心に寄り添う私のかかわり ～養護教諭として、そして、ひとりの人間として～	<ul style="list-style-type: none"> ・心から聴くということ ・人の想い ・自分について ・子どもたちとともに（臨床相談より） ・これからの私のかかわり方
元気が出る生徒指導を求めて	<ul style="list-style-type: none"> ・元気が出る生徒指導をしてきたけれど ・元気が出てくる方法はないだろうか ・体験してみなければわからない ・元気に歩こう
よりよく関わり合いたい心を見つめて ～自己の在りようと学校現場での手立て～	<ul style="list-style-type: none"> ・自己を通して、よりよく関わり合いたい心を見つめる ・よりよい関わり合いを促す手立て ・よりよく関わり合いたい自己の在りよう

別表2) 人間関係づくりに関するキーワード

<p>安心安全・感受性・共感的理解・傾聴・自己一致・自己開示</p> <p>自己主張・自己理解・自尊感情・自他の区別・自立と依存</p> <p>自由・主体性・誠実・受容（自己受容・他者受容）・操作性</p> <p>対等・父性と母性・マイナス感情・他者尊重</p>

Ⅲ 研究の計画

(1) 対象

過去5年間（平成13年度～平成17年度）の「教育相談及び生徒指導に関する研究」の項目を修了した長期研修員8名。

(2) 内容

学級経営に関する学校現場での実践について話を聞く「聞き取り」をおこない、それに考察を加える。

(3) 方法

本セクションのスタッフが以下のような方法で聞き取りを行う。

- ・聞き取り調査事前アンケート票により「人間関係づくりに関するキーワード」を示すと共にキーワードに関する学校現場での実践や体験，気づきについての有無を調べる。
- ・聞き取り調査事前アンケート票の結果に基づき「聞き取り」を行う。
- ・話を全て録音し、後でそれを文章化する。

(4) まとめ方

- ・この調査をまとめるにあたり，聞き取った実際の言葉を点線の囲みの中に載せた。話した方の気持ちがよく伝わると考えたからである。
- ・プライバシー保護のため，個人名，年度，地域や学校が特定できないよう配慮した。